

もせうし
妹背牛町×H◎
特別編集企画



ENJOY M♡SEUSHI



妹背牛で 移住ライフ

～住んでみたくなるまち～

子育て環境、町民気質、支援制度、特産品、etc.
小さな町に魅力がいっぱい



だから、 妹背牛町に



札幌と旭川の間にある小さな農業のまち、それが人口約3000人の妹背牛町。総面積は道内で3番目に小さいながら、町民一人ひとりがイキイキとした笑顔で毎日を暮らしている。その魅力を、他の自治体から移住してきた現妹背牛町民に伺ってみた。

夢をかなえる場所に妹背牛町を選んだのは、「大好きな花も、受け入れてくれる人もいたから」

妹背牛町で花き農家として暮らす定講保男さん・静佳さん夫妻。2002年に兵庫県川西市から移住してきた。大阪で花の販売や流通に関わる仕事をしてきたが、「花を育てたい」との思いから花き農家への転身を志したのがきっかけだ。「妹背牛町に決めたのは、独立に向けて手厚くサポートしてくれる地元の花き農家さんがあったから」と保男さん。2年間の研修の後、当初の目標より早く独立した。移住当初は長女の早紗羅ちゃんと3人家族だったが、現在は6人家族。静佳さんは「妹背牛町は医療費や育児に



花きを育てるハウスは15棟を数えており、当初の目標を上回っている。4人の子どももお手伝いしてくれるが、春から秋は休み暇はなし。「特に気温が高くなる夏場のハウスでの作業は厳しい」と保男さん



収穫した花きを出荷用に切りそろえる作業はすべて手作業。花への愛情が伝わる。農場から少し離れた自宅に作業場があり、梱包まで行う



気温などの変化によって栽培が難しい品種もあるが、妹背牛町ならではの内陸性気候を生かして高品質の花を育てる



定講さんが育てているのは20種類ほどの花きで、中でもメインはスターチス。多彩な色合いを持つさまざまな品種がある

お花だしです
ほくもお手伝い！



住者は5組にも及んでいる。

対する助成が充実していて、子育ての上でとても助かっています」と話す。近隣にも子どもが多いため、「小中学校まではお友達みんなまで進級できるのもいいところ。ご近所同士で子育てを支え合う習慣もあり、たくさんの兄弟姉妹がいるみたいで、子どもにも親にも恵まれた環境です」と笑う。移住には行政サポートは欠かせないが、行政には手の届かない部分でも暮らしやすい環境が整っているようだ。なお、妹背牛町では、花き農家として独立できるようなサポート体制が整っており、定講さんと同じように研修後に花き農家として独立した移住者は5組にも及んでいる。

移住時に「35歳まで独立」という目標を立てたが、実際にはそれよりも早く独立。「最初に受け入れてくれた花き農家の田村さんのおかげ。今でも感謝でいっぱいです」と保男さんと静佳さん

住んでいきます！

Profil

兵庫県川西市から

2002年4月移住

定講 保男さん 静佳さん

関西大学を卒業した保男さんは、大阪の花き市場などを経て園芸店に勤務。同じ店で働く静佳さんと出会い、交際の後に結婚した。保男さんは学生時代にバイクツーリングで何度も北海道を訪れており、北海道への移住を夢見ていた一方、静佳さんは高校と大学で花について学んでいた。ふたりの夢を実現するのに選んだのが妹背牛町だった。



右／身に付けた技を存分に発揮する一貴さん。使用する材料は味覚をもとに厳選

左／より明るい雰囲気になるように店舗の内装も外観も少しずつ手直している



Profil

東京都から

2020年4月Uターン

すみ かずき
須見 一貴さん 黎さん

妹背牛町生まれの一貴さんは、地元の高校を卒業後に上京、和菓子店と洋菓子店で合わせて10年間修業した。洋菓子店勤務時代に山梨県出身の黎さんと知り合い、結婚。2020年4月に次期店主として大黒屋に戻ってきた。お菓子づくりにも一貴さんのサポート役を担う黎さんは、新商品のデザインのほか、道内では珍しい山梨県産果物の仕入れなども担当している。

次期店主として帰郷した一貴さんと黎さん。老舗の味を守ることは、妹背牛町の魅力を守ることもつながっている

まず、空知管内に轟く人気菓子店へと成長させている。

一貴さんは、看板商品の中花まんじゅうなどこれまで親しまれてきた味に、東京で修業した技をプラス。売上を押し上げた。道内で3代続く店は、これまで、妹背牛町にとどまらず、空知管内に轟く人気菓子店へと成長させている。

2020年4月のことだ。
一貴さんは、看板商品の中花まんじゅうなどこれまで親しまれてきた味に、東京で修業した技をプラス。売上を押し上げた。道内で3代続く店は、これまで、妹背牛町にとどまらず、空知管内に轟く人気菓子店へと成長させている。

東京から帰郷し、老舗菓子店を守る次期店主
町民おなじみの味を進化させ、
さらに愛される店へ



左から3人目が初代の須見一衛さん。妹背牛町の老舗菓子店を家族で守っている



ケーキは常時20種類以上。これまで使用していた素材にひと工夫して味わいを変え、彩りも鮮やかにした

大黒屋菓子舗 雨竜郡妹背牛町宇妹背牛468-1 ☎0164・32・2021





右／ベトナム名物の「揚げ春巻き」を同郷の友達と手作り
左／役場の同僚や町民に振る舞うこともあるそう。本場の味は大好評とのこと

地域おこし協力隊として妹背牛町で暮らすベトナム出身のファム・ティ・モさん。東川町の専門学校で留学生として日本語を学んでいたところ、地域おこし協力隊の募集を知った。技能実習生などとして暮らす外国人の生活サポートが主な活動。相談に応じたり、健康診断や役場での手続き補助など、いわば外国人との「懸け橋」的存在だ。

妹背牛町の印象を尋ねると、「生まれた故郷に似ているこの妹背牛町は、温かい支援サービスや制度があり、親切な方が多く、笑顔を与えてくれるんです」とニコリ。大満足の笑顔を見せた。

「地域おこし協力隊の仕事を通じて技能実習生だけではなく、多くの町民に会えるチャンスがあり、妹背牛町でいろいろな体験をしています」と話すモさん

地域おこし協力隊として採用され移住 妹背牛町で暮らす外国人との懸け橋に



Profil
ベトナムから
2021年4月移住
ファム・ティ・モさん

2021年4月から妹背牛町で暮らすモさんはベトナム・ニンビン省の出身。東川町の日本語学校卒業のタイミングで地域おこし協力隊に応募し、妹背牛町役場に採用された。町内で暮らす外国人のサポートのほか、ベトナム文化紹介授業を小中学校で行うなど、地域住民との交流支援事業にも携わっている。



町内外のイベントや花植えなどにも参加。町民にすっかりなじんでいるモさん



「遊歩市」で、得意料理の「揚げ春巻き」を販売するモさん

町民の意見も反映された子育て世代交流施設

フロム・モコ

「From☆Moko」で子どもも親も笑顔に
子育てがより楽しく、そして毎日が充実

妹背牛町の子育てに欠かせない施設がここ「From☆Moko」。
2021年12月にオープンした子育て世代交流施設で
子育てに関わる町民なら誰でも利用できる。

民家を改修した木造2階建ての「From☆Moko」。妹背牛町に住む子育て世代がいつでも屋内で遊んだり、料理を楽しむことができる子育て世代交流施設だ。「何があったら親子の笑顔を増やせるか」と考えた町と、町在住の親子、地元工務店の3者が、計画段階から協力。町民参加型施設として誕生した。

延べ床面積196㎡の施設内は、子育て世代の「あったらいい！」をできる限り詰め込んだ





1階にはアイランドキッチンを設置。親子で料理をしたり、子育ての話に花を咲かせたり。ママ同士の情報交換の場にもなっている



とあって、親子の笑顔が広がる夢いっぱいのだより。1階の遊戯スペースには大きな黒板や滑り台、中2階に続くスペースにはボルダリング、階段下にはトンネル、吹き抜け部分にはハンモックネットといったように、いろいろな遊具を設置した。また、1階にはみんなで料理ができるアイランドキッチンや、冷蔵庫、電子レンジなども完備。2階にある授乳などにも利用できる個室も好評だ。

施設名の「モコ」とは「妹背牛町の子ども」の略。町民やモコたちの意見も取り入れ、イベント開催やサークル活動など使い方もさらに進化中。「from☆Moko」の中では、モコの笑顔と笑い声がいつでも弾けている。



上／2階に通じる階段の下には大きなトンネルが設けられている。秘密基地のように使うこともでき、子どもも喜ぶ

下／ボルダリングができるスペースも。雨や雪の日でも子どもを遊ばせたり、体力をつけさせることができる

妹背牛町に住む18歳以下の子どもと親、妊婦さんなど子育てに関わる町民であれば、無料で気軽に利用できるうれしい施設だ

町民参加型でできた「from☆Moko」。町民の発案でイベントなども開催しており、手作りお菓子とドリンクでホッとできる「モコカフェ」も



妹背牛町子育て世代交流施設

from☆Moko

雨竜郡妹背牛町1区3町内 電話：0164・34・6545

Case 2 Kitahiroshima >>> Moseushi
北広島市から移住の安永さん



Profil
やすなが まさみ
安永 雅美さん
年齢：40代
家族：夫と息子2人

結婚を機に、2008年にご主人の出身地である妹背牛町へ移住。家業の農業を一員として担い、2児を育てるたくましい母である。

誰とでも仲良くなれるまちです！

「農家の嫁」として、ご主人の家族と共に農業に従事する安永さん。家事と育児、農作業と忙しい日々を過ごしながらも、「from☆Mokoへ行って親子で楽しんでいきます」と笑顔。
妹背牛町の印象は「気持ちいたら仲良くなっているまち」。誰もが気さくに話しかけてくれる、そんな町民気質が心地いいと思う。

農業兼主婦



「農作業はゼロからのスタート。出荷できるくらいまで見事に成長した農作物を見られるのが農家の醍醐味」とやりがいを感じている



Moseushi Love Spot

親子で遊ぶのが好きで、「from☆Moko」へ。この日のお昼はみんなでおにぎりをモグモグ

Case 1 Hiroo >>> Moseushi
広尾町から移住の藤井さん



Profil
ふじい いっぺい
藤井 一平さん
年齢：30代
家族：妻

2022年4月に、広尾町から奥さまと共に妹背牛町に移住。妹背牛商工会で経営改善普及事業などを手掛けている。

妹背牛町ならではの魅力を満喫中！

妹背牛商工会で中小企業への経営・税務支援などを行う藤井さん。転勤により2022年4月から妹背牛町で暮らしている。
休日には奥さまと町内を散歩。「大黒屋菓子舗」でお菓子を買ったたり、「ばにはつ分家」で味噌ラーメンを食べたり。実はカーリングにもハマリ、足しげくカーリング場に通っている。

商工会職員



経営改善普及事業や地域振興事業など幅広い業務に携わる。「妹背牛町には特産品がたくさんあるので、もっとPRできたら」とも



Moseushi Love Spot

買い物やアクティビティなど妹背牛町を満喫。この日は夫婦で100年続く町内の食品スーパーへ

移住の決め手は？

妹背牛での生活は？

妹背牛のLOVE

Case 4 Sapporo >>> Moseushi
札幌市から移住の酒田さん



Profil
酒田 美佳さん
年齢：30代
家族：夫と息子2人

妹背牛町の特産物の一つである米を作る農家のご主人と結婚し、2019年に移住。家事、育児に奮闘しながら農業も手伝う。

子どもが多く、子育てしやすい!

結婚を機に妹背牛町へ移住した酒田さん。ご主人は米農家なので、家族で食卓を囲むと「パパが作ったご飯だよ」「おいしいね」と息子さんと会話を交わすのが日課なのだとか。

移住する前は子どもが少ない印象だったが、子どもが多い上に町民が温かく、毎日のように「子育てしやすい」と感じるそうだ。

移住の決め手は？

Case 3 Asahikawa >>> Moseushi
旭川市から移住の芳形さん



Profil
芳形 吾一さん
年齢：30代
家族：妻

新聞社に勤務していたが、新しい挑戦の舞台として妹背牛町を選び、2022年3月に奥さまと移住してきた。

毎日新しい発見がある!

「前職の経験を生かしつつ、新しい環境で挑戦したかった」と妹背牛町への移住を決めた芳形さん。現在は、町役場で地域おこし協力隊として広報を担当している。

仕事は、何気ない普段の生活から他自治体にはない妹背牛町の魅力と社会性の高い出来事を見つけること。「妹背牛町に」と、毎日「発見」と充実した様子だ。

農業兼主婦



現在は子どもが小さいため育児を優先しているが、家事や育児の手が空くと農業の手伝いもするという

妹背牛での生活は？

地域おこし協力隊として広報担当



イベントの様子を写真に残し、広報誌などで発信。妹背牛町以外で暮らしていた期間が長いからこそ、妹背牛町の良さがよく見える

妹背牛のLOVE



Moseushi Love Spot

子どもの遊び場が多いが、中でもウォーターライダーのある「遊水公園うらら」がお気に入りだ



Moseushi Love Spot

「妹背牛町ならではのスポットは？」との問いにはカーリング場を挙げ、「道内でも珍しい」と推薦



Summer

足早に過ぎていく輝きの夏



Spring

桜も笑顔もほころぶ春の一日

春の緑、夏の青、
秋の黄金色、
そして冬の白。
四季の移ろいを
色で感じることができ
それが私たちが誇る、
妹背牛というまち。

私たちのまち



Winter

雄大な自然と向き合う冬



Autumn

一面に広がる、秋の紅色

北海道で3番目に小さな自治体で、総面積は48・64㎦。空知管内で唯一山がなく、北海道の母なる大河「石狩川」のほか、雨竜川と大鳳川が流れている。そんな小さなまちの中にも魅力がいっぱい。それは季節を色で感じることができる美しい風景を、まちづくりに生かしているから。中でも大切にしているのが、町民が実感する「やすらぎ」「ふれあい」と、まちを訪れた人が感じる「ぬくもり」。これからも、町民と共に一歩ずつ歩み続けていく。それが妹背牛町のまちづくり。それが私たちの妹背牛町。

妹背牛という

今と昔の比較で見る妹背牛

道内初の
キャラクター付きの
駅名標



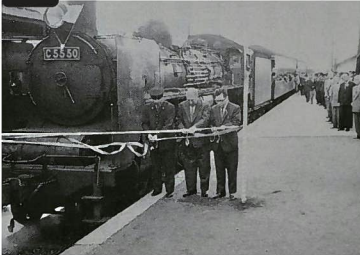
NOW

現在の妹背牛駅はのどかで小さな無人駅。
飲食店や観光地にも徒歩で行ける

町の中心部に位置する妹背牛駅は、
旭川駅や滝川駅、深川駅などの空
知管内の主要駅から、乗り換えもなく
来られるため便利。2022年5月には
キャラクター付きの駅名標が登場。
北海道では初めてのことだ。1番線は
カーリングのストーンがモチーフになっ
ている



OLD



1898年に開業した妹背牛駅は、人々をはじめ
農畜産物や貨物輸送でにぎわった。写真は
1965（昭和40）年に複線の開通式で行われ
たテープカットのワンシーン（長尾写真館所蔵）

町の発展に貢献した妹背牛駅
北海道で初めての駅名標も登場

町名の由来はアイヌ語の「モセウ
シ」で、イラクサが繁茂する所とい
う意味。当初は「望畝有志」と表記
していたが、1898（明治31）年に
「妹背牛」に表記が変更され、ほぼ
同時に「妹背牛駅」が開業した。そ
の後、1923（大正12）年に深川村
から分離して妹背牛村が誕生。現在
は無人駅だが、「妹背牛駅」が町の
発展を支えてきたのは間違いない。
かつての妹背牛町を振り返り、今
日までの移り変わりを紹介しよう。

右/かねてから水田農業に関する技術が
高い水準にあった妹背牛町。その代表的
技術が水稲移植型付け機「コロ」。一定
間隔に苗を植える正条植えを可能にした

左/現在は機械化が進み水田の規模も拡
大。妹背牛町は町域面積対農耕地比率
が70.5%で北海道が誇る米どころ。農業
産出額の81%を占めるのが稲作で、「米
のまち」と称される（農林水産省、わがマ
チ・わがムラ参照 令和3年のデータより）



NOW

OLD



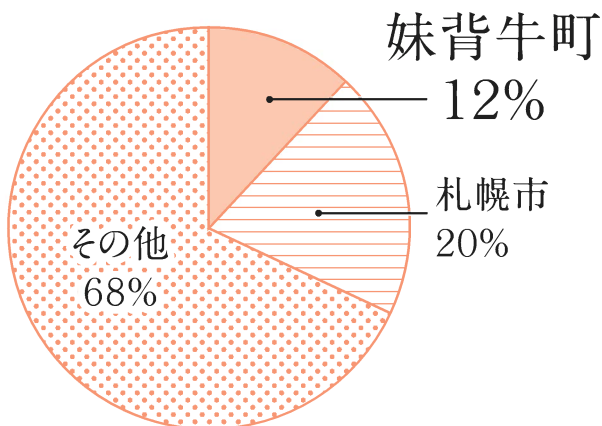
アンケートで見る妹背牛

子育て支援のさらなる充実を目指す妹背牛町では、
2021年に妹背牛町以外に住む子育て世代に対するアンケートを実施した。
その結果を分析していこう。

実施期間：2021年7月～8月の間の41日間
実施場所：遊水公園うらら、カーリングホール
実施方法：QRコードとスマートフォンの連携による
アンケート調査
回答者：155名
(そのうち30代56%、40代29%ほか)

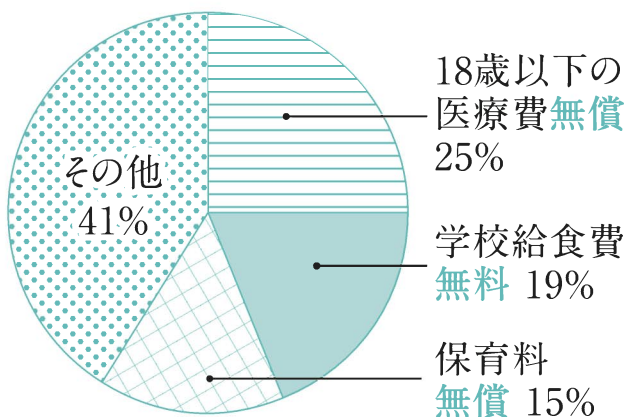
移住したい 道内の 市町村は？

札幌市には及ばないが、「妹背牛町」と回答したのは10人に1人ほど。選んだ理由は「子育て環境(支援)が充実している」(37%)が最も多かった。



妹背牛町の移住・ 子育て施策で よいところは？

「移住・子育て施策」について聞いたところ、育児に関する支援が上位を占めた。「支援の多さにびっくり」「妹背牛町民がうらやましい」などの意見も。



田舎で生活 したいですか？



妹背牛町での生活をぜひ一度体験していただきたいところですが、
まずは誌面上で疑似体験をしていただきましょう。

移住
体験記

H.Oのスタッフがぶらり

妹背牛町に 1泊2日で住んでみた

「論より証拠」と言うように、
実際に住んでみた方がより魅力が伝わるというもの。
そこでH.Oのスタッフ・須藤由美子が1泊2日の移住体験。
その様子を紹介していこう。

気軽に移住体験したいならココ
観光の拠点としても利用できる

まず訪れたのが宿泊施設の
「ムービングハウス」。町
のほぼ中央に位置する妹背
牛温泉へベル敷地内にある。
辺りは緑に囲まれたのどか
な雰囲気。ハンモックやテ
ントを張ってBBQや花火
を楽しむこともできる。

料金は妹背牛温泉へベル
の入浴券付きで、平日は最
大5人まで1泊8000円
で宿泊できるため、移住体
験のほかファミリーでの宿
泊、学生やグループの合宿
にも人気。観光の拠点とし
ても利用できる。



ムービングハウス



窓の外に広がる一面の緑。何をしても癒やされる。またキッチンが完備されているため、地元のスーパーで食材を購入し、自炊するのも楽しい

雨竜郡妹背牛町字妹背牛5208
妹背牛温泉へベル敷地内
☎0164・32・4141
(妹背牛温泉へベル)
☑大型駐車場完備



ラーメンだけじゃない！

らーめん ばにはつ分家

いくらでも食べられる、しおしょうが
オリジナルカレーも絶品

妹背牛町のラーメン店といえば「ばにはつ分家」。一番人気はサッパリしていていくらでも食べられる、しおしょうが950円。オリジナルカレーも絶品で、ラーメンとのセットメニューもある。

雨竜郡妹背牛町1区9町内
☎090・5987・8282
☎11:00～14:00
☑水曜 ☑あり



田舎暮らしに
慣れてきました！

Profil 須藤 由美子

出版社の販売担当。現在は札幌市内で気ままな一人暮らしをエンジョイ中だが、出身は滝上町なので田舎暮らしにはなじみがある。趣味は自然観察や茶道



爽やかに /

家族みんなで楽しめる複合公園 子どもの笑い声が青空に響き渡る

町民の誰でも遊んだことがある「遊水公園うらら」。家族みんなで遊べる施設が豊富な。夏はウォーターライダーが人気。複合遊具「カーリングコンビネーション」は2022年に新設されたばかり。

遊水公園うらら

幅広い世代が気軽に楽しめるのがパークゴルフ場(全3コース)。青空の下でのプレーは気持ちよい。そのほかバスケットゴールやバレーキュー設備などもあり、一日中遊べる

雨竜郡妹背牛町字
妹背牛5189
☎0164・32・2063
📍あり



名物ランチ /

海がないまちの老舗寿司 新鮮なネタと安さと ボリュームも魅力



浜っ子鮓

「浜っ子鮓」は、札幌の寿司屋で修業した杉本隆さんが経営。現在は奥さまと息子さんの3人で営業している。旭川、札幌、小樽から仕入れた道内産の新鮮なネタは、妹背牛産のななつぼしとゆめぴりかをブレンドして炊き上げたシャリとの相性も抜群だ。終日食べられるランチは、海鮮丼もしくは握りから選び、ボリューム満点の多彩なおドリブルも付いて1400円。海のない妹背牛町ながら、おいしいお寿司が食べられるなんてありがたい。

約半世紀にわたり店を営む杉本さん。外に出るの温かい送迎は名物となっている

雨竜郡妹背牛町1区4町内
☎0164・32・2666
🕒11:00~19:00(通し営業)
📅月曜 📍6台



移住
体験記

旅の疲れに！

良質な純天然温泉は
抗酸化作用が科学的に認定
飲泉も可能な憩いの湯

良質な天然温泉が
たっぷり、
1日の疲れも取れる



ロビーに設けられている
特産品コーナー。野菜
や米、地元の豆腐、ス
イーツなど妹背牛町なら
ではの品々が並ぶ

営業時間は、午前10
時～午後10時(年中
無休)。入館料は大人
500円、小学生は
250円、幼児は無料



妹背牛温泉べへル



泉質はナトリウム-塩化物・炭酸水素
塩泉で、体の奥からじっくり温まる。
露天風呂には趣のある庭園も



飲泉も可能で、体内の酸化を抑制し、
美肌効果にも期待

味処「米里(べいりー)」



味処「米里」の人気メニューは、日
替わりをはじめ、カレーやラーメンでテイ
クアウトも豊富。好評のフロート500
円はコーヒー、いちご、バナナの3種類

町民だけではなく、旅人の憩いの場ともなっている「妹背牛温泉べへル」。良質な純天然温泉が豊富に湧き出ており、加水をしない100%源泉掛け流しの湯あみができる。庭園の広がる露天風呂のほか、サウナやジェットバス、打たせ湯などものんびり楽しもう。科学的に抗酸化作用も認められており、飲泉も可能だ。味処「米里」が併設されているほか、ロビーには特産品コーナーも。湯上がり後もまつたりできる。

雨竜郡妹背牛町字妹背牛5208 ☎0164・32・4141

☑ 大型駐車場完備

※2023年5月上旬～2024年4月上旬はリニューアル工事ににつき、休業予定





人目も気にせずゆアソのんびりタイム

移住体験を楽しんだ後で、妹背牛町の印象を聞いたところ、「広々とした平野で、遠くの山を望むような地形が印象的。夕暮れの田園風景を写真で撮ってみたいなと思います」と笑顔で話す。また移住について聞いてみると、「仕事や生活の面でも充実しているような話が聞きました。今回は聞けなかった、病院、学校、住宅、ネット環境などについて自分でももっと確かめてみたいです」と前向きに考えている様子だった。

町内には隠れた名店も。優しい接客にも癒やされます



農業が盛んなだけあって、何を食べてもおいしい



遠くに山を望む田園風景が印象的
仕事や生活の充実ぶりも魅力

役場の方をはじめ町民の方はみんな優しい



妹背牛駅では道内初のキャラクター付き駅名標がお出迎え



広尾町から移住の
藤井 一平さん

妹背牛町には移住を
力強く後押ししてくれる
うれしい制度がたくさん

＼ 藤井さんがお薦めするガッチリ支援制度 /



藤井さん
お薦め
NO.1

民間賃貸住宅家賃支援

妹背牛町内の民間賃貸住宅に住んでいる方を支援する制度。毎月の家賃が35,000円以上の場合、単身世帯は6,000円、夫婦等世帯は8,000円、子育て世帯は10,000円を最大36か月間交付。



藤井さん
お薦め
NO.2

引越し費用支援

妹背牛町内で住宅を購入したり、賃貸住宅に入居するために転入した方を支援する制度。単身世帯には5万円、夫婦等世帯には8万円、子育て世帯には10万円を商品券で交付。



藤井さん
お薦め
NO.3

中古住宅購入支援

定住のために2年以内に居住する中古住宅などを購入した方を支援する制度。物件購入価格の10分の1(上限50万円)までを助成。移住の場合は20万円の商品券を追加で交付。※諸条件があり

特に費用の面で移住に二の足を踏んでいる場合は、これらの制度を確認してから検討してほしいです。ほかにも空き家・空地の情報提供や土地購入費支援、結婚新生活の支援制度など、幅広いサポートがあります。

※記載の制度内容は2023年2月現在

移住を力強く
後押し！



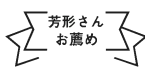


ハツラツと元気に暮らす方を
妹背牛町が応援。
仕事や暮らしに関する支援も多彩



旭川市から移住の
芳形 吾一さん

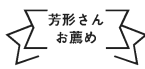
＼ 芳形さんがお薦めするハツラツ支援制度 /



NO.1

起業（創業）支援

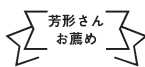
個人や団体、事業所を対象とした制度。新築店舗を建設する場合は建築費に対して限度額200万円、新車のキッチンカー購入費用に対して限度額100万円を支援。空き店舗を購入・改修する場合は限度額150万円、中古のキッチンカー購入の場合は限度額75万円などの支援。



NO.2

小売店舗等設備支援

妹背牛町内で小売店や飲食店などを営む個人事業主や法人を支援する制度。販売や営業に使用する10万円以上の機器および設備に関する経費を3分の1まで商品券で助成。上限は50万円。新規起業の場合は上限100万円。



NO.3

移住体験等支援事業

妹背牛町への移住を検討している方を支援する制度。毎年7・8・12・1月以外の月に7日間以上14日間以内の移住体験を行った方が対象。宿泊施設をムービングハウスとした場合に、1泊につき3,000円／棟を助成。



年齢を重ねても安心

移住したくても「どう暮らしていくか」という不安があります。しかし妹背牛町では暮らしや仕事に関する支援もたくさん。このほか高齢者の暮らし支援制度やお買い物おてもなし事業、成人予防接種費用の一部助成なども用意されています。

※記載の制度内容は2023年2月現在



北広島市から移住の
安永 雅美さん
札幌市から移住の
酒田 美佳さん

親子そろって笑顔で過ごせる
充実の子育て制度で
健やかな子どもを育みます!

＼安永さん・酒田さんがお薦めするハートフル支援制度／



安永さん
酒田さん
お薦め

NO.1

出産育児支援

妹背牛町内に住民登録している方が、子どもを出産した際の育児を支援する制度。助成金額は**第1子および第2子が20万円**（うち5万円分は商品券）、第3子以降は30万円（うち10万円分は商品券）。



安永さん
酒田さん
お薦め

NO.2

18歳以下の医療費全額助成

子どもの健康を守るための制度。18歳以下の町民が医療機関にかかった場合、保険診療の自己負担額の全額を助成。条件を満たしている方に受給者証が交付され、**道内外の医療機関を受診した際も自己負担はなし**。



安永さん
酒田さん
お薦め

NO.3

保育料の無償化

妹背牛町にある「**認定こども園 妹背牛保育園**」で就学前の乳幼児を預かる場合、その保育料はすべて**無償**。保育園では一時保育事業、子育て教室、預かり保育事業、学童保育事業なども行っている。



子育てしやすい
環境です!

このほか、子どもがいる場合は学校給食費無料、チャイルドシート貸し出し、高校通学費等支援などの支援が受けられます。また妊産婦の健康診査費用の助成、不妊治療費の助成など、手厚い支援が利用できます。

※記載の制度内容は2023年2月現在



私たちが暮らす妹背牛町は

小さな町だからこそ行政も動きやすく、

子育て世代へのサポートはもちろん、

親目線で考えた施設、働く人を応援する制度、

高齢者も笑顔で暮らせるような行政サービスなど、

移住を考えるきっかけとなる環境整備も進めています。

どこにもある小さな町のように見えて、

妹背牛町だからできること、

妹背牛町でしかできないことがある。

そうした考えの下、

子どもから高齢者まで

町民の一人ひとりがイキイキと暮らせるよう、

これからも住みよい環境を構築していきます。

企画振興課
企画振興グループ



妹背牛町イチオシ商品

ふるさと納税

町自慢の返礼品の数々 定番に加えてジンギスカンも誕生

妹背牛町では、個性豊かで活力あるまちづくりを進めており、その財源の一部はふるさと納税制度を活用した寄附金で賄っている。2021年には前年に比べ約26%寄附金が増加し、全国からの応援メッセージなども多数寄せられている。

ふるさと納税の返礼品は、町独自のブランド米「北彩香」をはじめとする特産品や、話題のスポーツ・カーリングの体験に加え、2022年12月には塩こうじを用いた「妹背牛ラムジンギスカン塩」が誕生した。



軟らかい肉質と塩こうじで旨味を引き出した新名物・塩ジンギスカン。町自慢のブランド米「北彩香」のご飯にのけると…間違いなしのおいしさ。「いくらでも食べらさる」ジンギスカン丼の完成

2022.12.1
Debut



妹背牛ラムジンギスカン塩（寄附金額10,000円～）。国内流通率2%未満の超希少なアイスランド産のラム肉を使用。クセがなくあっさりとした新感覚のジンギスカンだ



【北彩香】【ゆめびりかvsプレミアムななつぼし】特A食べ比べ（寄附金額11,000円）。12年連続（2010年産～2021年産）で特Aランクを獲得した「ななつぼし」と、北海道No.1品種の「ゆめびりか」をセットで

※記載内容は2023年2月現在

全国的に人気のアレコレ！



4



1



5



2



6



3

4 お母さんの手作り「無添加完熟トマトジュース(寄附金額13,000円)」。たっぷり日光浴をして育った完熟トマトを、農家のお母さんがそのままジュースに

5 カーリング体験会【8名まで指導者付き】(寄附金額10,000円)。町民のスポーツとして親しまれているカーリングの体験会。インストラクターと用具のレンタルをセット

6 妹背牛温泉ベル「ムービングハウス」宿泊&温泉入浴券付(寄附金額30,000円)。泉質が自慢の源泉掛け流しの温泉に浸かり、ムービングハウスでゆったり過ごす。移住体験や観光旅行の拠点にも

1 浅漬けの素「米子ちゃん」(寄附金額5,000円)。野菜はもちろん、肉や魚料理の調味料としても◎。右ページの「妹背牛ラムジンギスカン塩」の味付けとしても使用

2 大黒屋菓子舗のでか生(寄附金額7,000円)。産産食材にこだわった直径18cmのビッグどら焼き。つぶあんには栗が入っており、たっぷりの生クリームと相性良しのコラボ

3 大黒屋菓子舗のマカロン(寄附金額8,000円)。サクサクの食感とアーモンドの香りが広がる新名物。イチゴ、レモン、ゴマ、ピスタチオなど6種類のフレーバー

※記載内容は2023年2月現在

ENJOY M♥SEUSHI



Produced by 妹背牛町役場
Supported by 妹背牛町民

まずは遊びに来てみてね!



詳しい情報は
こちらから

※情報は2023年2月現在

妹背牛町役場 企画振興課企画振興グループ：0164・34・8581

<https://www.town.moseushi.hokkaido.jp/>